

```
*****
**                                                                 **
**                               ソフトウェア説明書                **
**                                                                 **
**                               FUJITSU Software                 **
** SIMPLIA DF-COBDOC V50L90 (50.90.0.0)                       **
**                                                                 **
*****
```

ソフトウェア説明書は、製品の取り扱い、ご使用に際して特に注意すべき事項、参考となる情報等を記したものです。製品のインストール前に必ずお読みください。

本ソフトウェア説明書は、以下の構成で記述しています。

1. 製品概要
2. オンラインマニュアルについて
3. ソフトウェア組み合わせ条件
4. インストール
5. サンプルデータでの動作確認手順
6. アンインストール
7. エンハンス事項
8. 旧版からの移行について
9. セキュリティについて
10. SIMPLIA製品に関する情報
11. 補足事項

なお、本ソフトウェア説明書では、各製品を次のように略記しています。あらかじめご了承ください。

- 「Windows(R) 10 Home」または、
「Windows(R) 10 Pro」、
「Windows(R) 10 Enterprise」、
「Windows(R) 10 Education」
--> 「Windows 10」
- 「Windows(R) 8.1」または、
「Windows(R) 8.1 Pro」、
「Windows(R) 8.1 Enterprise」
--> 「Windows 8.1」
- 「Windows(R) 7 Home Premium」または、
「Windows(R) 7 Professional」、
「Windows(R) 7 Enterprise」、
「Windows(R) 7 Ultimate」
--> 「Windows 7」
- 「Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Datacenter」または、
「Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Standard」、
「Microsoft(R) Windows Server(R) 2016 Essentials」
--> 「Windows Server 2016」
- 「Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Datacenter」または、
「Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Standard」、
「Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Essentials」、
「Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 R2 Foundation」
--> 「Windows Server 2012」または、「Windows Server 2012 R2」
- 「Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Datacenter」または、
「Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Standard」、
「Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Essentials」、
「Microsoft(R) Windows Server(R) 2012 Foundation」
--> 「Windows Server 2012」
- 「Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Datacenter」または、
「Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Standard」、
「Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Enterprise」、
「Microsoft(R) Windows Server(R) 2008 R2 Foundation」

- 「Windows Server 2008 R2」
- 次の製品すべてを指す場合は、「Internet Explorer」と表記しています。
Microsoft(R) Internet Explorer 10
Microsoft(R) Internet Explorer 11
- 次の製品すべてを指す場合は、「Windows」と表記しています。
Windows 10
Windows 8.1
Windows 7
Windows Server 2016
Windows Server 2012 R2
Windows Server 2012
Windows Server 2008 R2
- リモートデスクトップ機能のサーバ側機能は、Windows Server 2008 R2ではターミナルサービス、Windows Server 2012ではリモートデスクトップサービスです。これらを指す場合は単にターミナルサービスと記載します。
- 「Microsoft(R) Word 2010」
→ 「Word2010」
- 「Microsoft(R) Word 2013」
→ 「Word2013」
- 「Microsoft(R) Word 2016」
→ 「Word2016」
- 「Microsoft(R) Excel 2010」
→ 「Excel2010」
- 「Microsoft(R) Excel 2013」
→ 「Excel2013」
- 「Microsoft(R) Excel 2016」
→ 「Excel2016」
- 輸出管理規制について
本ソフトウェアを輸出または第三者へ提供する場合は、お客様が居住する国および米国輸出管理関連法規等の規制をご確認のうえ、必要な手続きをおとりください。

1. 製品概要

1. 1 SIMPLIAとは？

- SIMPLIA(SIMple development & maintenance support Program LIbraries for Application system)は、アプリケーション開発・保守作業を支援するツール群の総称です。
- SIMPLIA製品を導入することにより、作業効率アップ・生産性/品質向上などの効果が期待できます。

SIMPLIA製品は、機能別に以下の体系に分類されます。

PFシリーズ	主にプログラム設計工程をサポートします。 プログラム設計書自動出力ツール
TFシリーズ	主にテスト工程をサポートします。 テストデータ作成支援ツール、コード変換ツール など
VFシリーズ	テスト結果の確認作業等の検証作業をサポートします。 ファイル内容比較ツール
DFシリーズ	各種ドキュメントを出力します。 クロスリファレンス、ファイルレイアウト、ジョブフロー など
MFシリーズ	主に保守・管理工程をサポートします。 プログラムステップ計測ツール

1. 2 SIMPLIA DF-COBDOCとは？

SIMPLIA DF-COBDocは、富士通のNetCOBOLで開発されたCOBOL開発資産より開発・保守に必要な設計書や仕様変更時の影響を調査するための資料を自動的に生成するツールです。

- ・生成されるドキュメントの内、設計書や一覧表は、お客様が自由に変更できるようにMicrosoft (R)のWord 2010、2013、2016やExcel 2010、2013、2016の形式で生成します。
HTML形式でも生成することができるため、お手持ちのWEBブラウザにて設計情報を確認することができます。
- ・調査用資料においては、CSV形式で出力されるため、お手持ちの表計算ソフトで自由に加工することが可能です。

1. 3 製品構成

- ・本製品は、CD-ROMで提供されます。
- ・本製品にはマニュアルは添付されておりません。使用方法、動作確認手順 については製品本体に組み込まれているオンラインマニュアルを参照してください。
- ・提供形式：CD-ROM × 1枚
 - － 製品本体
 - － サンプルデータ

1. 4 ハードウェア条件

カテゴリ	要件
動作マシン	Windows 10, Windows 8.1, Windows 7, Windows Server 2016, Windows Server 2012 R2, Windows Server 2012, Windows Server 2008 R2が動作するマシン
動作可能メモリ容量	1GB以上 2GB以上のメモリの搭載を推奨。
格納先ハードディスク容量	50.0MB以上

※ ハードディスク容量は、機能選択やハードディスクの属性(クラスタなど)により異なりますので、注意してください。

2. オンラインマニュアルについて

- ・本製品には、以下のオンラインマニュアルが含まれています。
 - － SIMPLIA DF-COBDoc オンラインマニュアル

※オンラインマニュアルは、最新のInternet Explorer で参照ください。

3. ソフトウェア組み合わせ条件

3. 1 必須ソフトウェア

ソフトウェア	要件	備考
OS	Windows 10 Windows 8.1 Windows 7 SP1 Windows Server 2016 Windows Server 2012 R2 Windows Server 2012 Windows Server 2008 R2	左記のいずれかのOSが必要です。
Windows版NetCOBOL	V11.0.0～V12.0.0	保守用データベースの作成およびドキュメント生成に必要です。プロジェクトマネージャを利用しての保守支援環境を提供していません。

※ x64用のOSをご使用の場合は、WOW64環境で動作します。

※ Windows版NetCOBOLはx86版のみをサポートします。

3. 2 関連ソフトウェア

ソフトウェア	要件	備考
Word	2010～2016	設計書をWordの文書として生成する場合に必要です。
Excel	2010～2016	一覧表をExcelのシートとして生成する場合に必要です。
Internet Explorer	最新版	HTML形式で出力されたドキュメントを表示する場合に必要です。
MeFt	V10.0.0～V12.0.0	画面・帳票レイアウトに対してレイアウトイメージを貼り付けたい場合に必要です。 ※PXDファイル（帳票定義体）の解析はサポートしていません。
PowerCOBOL	V10.1.0～V12.0.0	クライアント関連ドキュメントのフォーム一覧、フォーム定義のドキュメントの出力に必要です。
Solaris版NetCOBOL	V7.0L10～V10.5.0 V8.0L10～V10.5.0	Solaris上の開発資産から保守用データベースを作成するために必要です。 Unicode開発資産を扱う場合に必要です。
Interstage Charset Manager Standard Edition	V9.3.0～V9.5.1	Solaris上のUnicode開発資産からの保守用データベース作成およびドキュメント生成に必要です。

4. インストール

4. 1 アイコンおよびフォルダについて

- ・インストールが終了すると、グループ「SIMPLIAシリーズ」の「DF-COBDOC V50」の配下に以下のアイコンが作成されます。
 - － SIMPLIA DF-COBDOC
 - － SIMPLIA DF-COBDOC ソフトウェア説明書
 - － SIMPLIA DF-COBDOC オンラインマニュアル
- ・インストールが完了すると、インストールしたシステムのレジストリ情報にインストール情報が格納されます。
- ・インストールが完了すると、以下のフォルダ構成でファイルが格納されます。

DF-COBDOC	: EXE等の実行資産が格納されます
├ Default	: 設定ファイルが格納されます
├ HELP	: HTML形式のオンラインマニュアルが格納されます index.htm[起動ファイル]
├ SAMPLE	: サンプル資産が格納されます
└ Template	: テンプレートファイルが格納されます

4. 2 インストール時の注意

- ・本製品はAdministrator権限のあるユーザでインストールを行ってください。Administrator権限のないユーザでインストーラを起動した場合、インストールが正常に終了しないことがあります。
- ・実行中のアプリケーションをすべて終了した後に、本製品をインストールしてください。終了しない場合、インストールに失敗することがあります。
- ・インストール先の選択画面で指定するインストール先は、フルパスで指定してください。
- ・インストール先の選択画面でインストール先を指定して次画面に遷移した後に、「戻る」ボタンで再度、インストール先の選択画面に戻ってインストール先を変更指定すると以前に指定していたフォルダが作成されたままになることがあります。
- ・インストール時に十分な空きディスク容量があっても、ディスクの属性（セクタなど）によりファイル複写中に容量不足が発生することがあります。この場合、既に複写されたフォルダやファイルを削除した後、インストール先のドライブを変更するか、更に十分な空きディスク容量を確保した上で、再インストールを行ってください。
- ・再インストールする場合には、ハードディスクの空きスペースを確認してから行ってください。
- ・インストール先にドライブルートおよびネットワークドライブは指定しないでください。正しくインストールされない場合があります。
- ・インストール時に、ユーザ情報画面で「現在のユーザのみ」を選択した場合、管理者権限のあるユーザであっても、正しくアンインストールを行うことができない場合があります。そのため、支障がない限り「このコンピュータを使う全ユーザ」（全てのユーザー）を指定してください。

<以前のバージョンからの移行について>

以前のバージョンが既にインストールされている環境に本製品を上書きインストールするとアンインストールが正しく動作しなくなります。
お手数ですが以前の製品をアンインストールした後、本製品のインストールを行い、環境を再設定してください。

4. 3 インストール手順

- 以下の手順で、インストールを実施してください。

- (1) 実行中のアプリケーションをすべて終了してください。
- (2) 製品CD-ROMをCD-ROMドライブに入れます。
- (3) 自動的にインストーラが起動されます。

※自動的にインストーラが起動しない場合は、製品CD-ROM配下の“setup.exe”を実行してください。

- (4) 以降、画面に表示される指示に従って、インストールを進めてください。

```
**[SIMPLIA DF-COBDOCの起動方法]*****  
**  
** SIMPLIA DF-COBDOCはWindowsの「スタート」メニューから起動します。 **  
**  
** また、開発の形態に合わせ、COBOL開発マネージャとの連携も従来通りサ **  
** ポートしています。 **  
** SIMPLIA DF-COBDOCをインストールすると、各COBOL開発マネージャのメニ **  
** ューにSIMPLIA DF-COBDOCのメニュー（「保守支援」メニュー）が組み込まれ **  
** ます。 **  
** ※PowerCOBOLでは、「ツール」メニューの配下に「保守支援」が組み込まれます。 **  
** 連携するCOBOL開発マネージャ製品は以下のとおりです。 **  
** 対応するバージョンレベルについては、「3. ソフトウェア組み合わせ条件」を **  
** ご覧ください。 **  
** - COBOL プロジェクトマネージャ **  
** - PowerCOBOL **  
** - Windowsエクスプローラ **  
** Windowsエクスプローラから起動する場合は、「4. 4 エクスプローラより **  
** ご利用になるための環境設定」をご覧ください。 **  
**  
*****
```

4. 4 エクスプローラよりご利用になるための環境設定

- エクスプローラよりSIMPLIA DF-COBDOCをご利用する機能は、インストール時にデフォルトで設定されています。ご利用を中止される場合は、インストール先にあるエクスプローラ連携設定コマンド「LNDFCDEX.exe」を起動し、「環境設定を削除する。」を選択してください。
再度、設定を行う場合は、「環境設定をする。」を選択してください。
- 環境が設定されているかを確認する場合は、エクスプローラを起動し、フォルダかファイルを選択した状態で、右クリックすると表示されるポップアップメニューに「保守支援」と表示されていれば正常に設定されています。

5. サンプルデータでの動作確認手順

- ・サンプルデータでの動作確認手順は、オンラインマニュアルの下記のページを参照してください。

－ 第8章 サンプル資産からドキュメントを出力する

6. アンインストール

6. 1 アンインストール時の注意事項

- ・アンインストールは、製品のインストーラにより作成された環境、および複製されたファイルに対してだけ削除処理を行います。製品の使用などにより作成された環境およびファイルに対しては削除処理を行いません。
- ・他製品と連携している可能性がある場合については、アンインストール後でも製品フォルダが残る場合があります。
- ・4. 4のエクスプローラ連携設定コマンドを利用して、エクスプローラより環境を設定している場合は、アンインストールを実行する前に、同コマンドにて環境を削除する必要があります。コマンドを起動し、「環境設定を削除する。」を選択してください。
- ・アンインストール時に更新の必要があるファイルがエクスプローラで使用中的である事を通知する画面が表示されることがあります。
この場合はアンインストールウィザード終了後、Windowsの再起動を実施してください。

6. 2 アンインストール手順

- ・以下の手順で、アンインストールを実施してください。
※ 下記の説明は、Windows 7を元に説明をしています。
- (1) [スタート]メニューをクリックします。
- (2) [コントロールパネル]をクリックし、コントロールパネルを開きます。
- (3) [プログラムと機能]を選択し、[プログラムのアンインストールまたは変更]画面よりアンインストールを行ってください。
- (4) 以降、画面に表示される指示に従って、アンインストールを進めてください。

7. エンハンス事項

以下に、V50L80からのレベルアップ事項を示します。

- ・新規Word、Excelのサポート
 - － Word2016、Excel2016での動作をサポートしました。

※本製品は、下記に示すD Fシリーズの後継製品です。

- － SIMPLIA/DF-PROGRAM V30
- － SIMPLIA/DF-FILECHART V30
- － SIMPLIA/DF-FORM V30
- － SIMPLIA/DF-CROSSCOB V30

従来のD Fシリーズからのバージョンアップ事項を下記に示します。

- － COBOL資産の解析にCOBOLコンパイラを利用するようになりました。
これにより、言語解析レベルが強化されました。
- － 出力形式をWord2010、2013または2016の文書やExcel2010、2013または2016のシートといった編集可能な形式で出力します。
これにより、出力したドキュメントを自由に変更することが可能です。
- － 設計書や一覧表といったドキュメントのヘッダ部やフッタ部は、自由にカスタマイズすることが可能です。
これにより、ドキュメントフォーマットをお客様の標準化規約に合わせる事が可能です。
- － 仕様変更等の影響を調査する機能において出力結果をCSV形式で出力します。
これにより、お手持ちの表計算ソフトを利用することで、検索や集計を容易に行えます。
- － 設計書および一覧表をHTML形式で出力します。
出力した結果をサーバ上に保管すれば、WEBブラウザを利用して保守情報を共有できます。

8. 旧版からの移行について

- ・ ソース解析情報ファイル(SAI)は、NetCOBOL V10.0.0以降で作成したものをそのまま扱うことができます。
 - ・ システム管理ファイルは、旧版で使用したものをそのまま扱うことができます。
- ※注意：ただし、V50L50より前のバージョンで作成したシステム管理ファイルは、今版の機能でアクセスすると、V50L50より前のバージョンでは使用できなくなりしますので、ご注意ください。システム管理ファイルへのアクセスが発生する操作とは以下のような操作です。
- － 基本画面の起動
 - － システム管理機能の起動
 - － システム選択機能のシステムの変更処理
 - － 保守用データベース生成処理
 - － ドキュメント出力処理
- ・ 保守用データベースは、対応するCOBOLで生成されたソース解析情報ファイル(SAI)から再度作成してください。

9. セキュリティについて

- ・ 本製品はイントラネット環境下で使用してください。

10. SIMPLIA製品に関する情報

- ・ SIMPLIA製品に関する最新の情報は、下記のURLアドレスのサイト内検索で「SIMPLIA」と入力してください。

URL : <http://www.fujitsu.com/jp/>

11. 補足事項

11.1 注意事項

- ・ COBOL開発マネージャ連携での保守用データベース生成において、データベースの

作成先のフォルダとして、環境変数TEMP(またはTMP)に設定されているフォルダは指定しないで下さい。各機能が正常に動作しない場合があります。

- ・日本語名標出力機能において、「PowerWORDVIEW連携」に関する機能が利用できなくなりました。
- ・JIS2004の4バイトコードで表現される文字を以下の用途に使用した場合は、正しく動作しません。
 - 入力項目に入力した場合
 - 文字を含むフォルダ名、ファイル名を選択した場合
 - 文字を含むデータを入力した場合
- ・Windows 10、Windows 8.1、Windows 7、Windows Server 2016、Windows Server 2012、または、Windows Server 2008 R2にて、エクスプローラ連携を利用する際にショートカットファイルを選択した場合、各機能が正常に動作しない場合があります。
- ・インストール時に、Windows Defenderの履歴に以下の内容が「警告レベル：不明」として記録されることがありますが、そのままお使いいただいて問題ありません。
 - エクスプローラ連携時に使用するDLL (F5AVGEXT.DLL) の起動設定
- ・その他SIMPLIA DF-COBDOCの制限事項・注意事項については、「SIMPLIA DF-COBDOC オンラインマニュアル」の留意事項に関するページを参照してください。
- ・インストール時に作成されるファイルは、アンインストール以外の方法で削除しないでください。
- ・リモートデスクトップサービス/XenApp使用時のライセンス
XenApp(Citrix XenApp)は、MetaFrameおよびCitrix Presentation Serverの後継製品です。ここでは、XenApp、MetaFrame、およびCitrix Presentation Serverを総称してXenAppと略します。

リモートデスクトップサービス/XenAppを使用して、本製品を使用する場合、リモートデスクトップサービス/XenAppを同時に利用するクライアント台数分のライセンスが必要です。

- ・リモートデスクトップサービスへのインストール時の注意事項

リモートデスクトップサービスをお使いの場合は、オペレーティングシステムの状態をInstallモードに変更してください。

- change user /install Installモードに変更する。
- change user /execute Applicationの実行モードに変更する。
- change user /query モードを表示する。

なお、本製品のインストール後はApplicationの実行モードに戻してください。

1 1. 2 高度な安全性が要求される用途への使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。

お客様は本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途

に使用しないでください。また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても富士通株式会社およびその関連会社は一切責任を負いかねます。

— 以上 —

-
- Microsoft、Windows、Visual Studio、Visual BasicおよびWindows Serverは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
 - Citrix、Citrix Presentation ServerおよびCitrix XenAppは、Citrix Systems, Inc.の米国およびその他の国における商標です。
 - その他の会社名および製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

本文中の記載内容は予告なしに変更される場合があります。
本文中の記載内容を無断で他に転載しないようお願いします。
本製品におけるソースコードは弊社または開発会社の秘密情報です。
弊社に無断でソースコードを第三者へ開示することを禁止します。

Copyright 1994-2018 FUJITSU LIMITED
